



輝いている人

作品づくりを通じ、
備中漆の魅力を伝えたい

岡山県の文化向上に貢献し、今後の活躍が期待される人に送られる岡山県文化奨励賞に選ばれたのが漆芸家の塩津容子さんだ。平成4年の初入選以来、日本伝統工芸展入選15回など数多くの賞を受賞。緻密な筆使いで独自の文様を描く描蒔(かきま)は、各方面から高い評価を得ている。「これからも研鑽(けんさん)を積み日々努力したい」と話す。

漆芸を始めて29年。「1日1工程」。作品は和紙と麻布に漆を混ぜ、何度も塗り重ねるなど、長い時間をかけて行う乾漆という技法で素地を作る。その上に描蒔技法で文様を描く。

描蒔には上質で透明度の高い備中漆を使う。「備中漆は10年、20年を経ても抜けるような透明度は変わらず、素地の強度はより高くなる」と評する。

作家活動とともに、衰退していた備中漆の復興(栽培)事業にも協力している。「備中漆を使った作品を作り、その魅力を多くの人に伝えるのが私の役目」。自身の作品を通じて備中漆の普及に意気込む。

漆芸教室や公民館講座の講師も務める。「アットホームな感じで楽しいですよ」と話す。裾野は広がっているが、後継者の育成と「志す人は、漆の特性を勉強し、とにかく時間を惜しまず、作品を作ることが大事」と熱く語る。

漆芸家としての活動が本当に楽しいという塩津さん。後継者の育成や備中漆の復興・普及へのさらなる取り組みが期待されるなか、「何より、心身ともに健康であることが第一」と力を込める。



まちたんけん

病児保育室「ほっとチュッピー」



お子さんが小さいうちは、急に熱を出したり、病気になったりすることがあります。でも、どうしても仕事を休めないときなど、困ることがあるのではないのでしょうか。

市では、病気のため集団保育や学校生活がむずかしく、保護者が家庭で看病できないときにお子さんを預かる病児保育室「ほっとチュッピー」を、三宅内科小児科医院内(井手919、☎93-8882)に開設しています。

9歳までのお子さんが対象で、利用には、市への事前登録が必要です。登録後は、電話で予約をするだけで、看護師や保育士のいる専門の部屋で、病気のお子さんをお預かりします。必要に応じて診察や薬の処方も行います。

利用時間は、月・火・木・金曜日が、午前8時30分から午後5時30分まで(午後6時まで延長可)。水・土曜日が、午前8時30分から午後1時までです。

利用料金は、1日利用すると2000円、半日利用は1000円。昼食300円、おやつ100円です。

問い合わせ 子ども課児童保育係(☎92-8265)

今月のテーマ
「色」

絵本よんで!

『ママ だいすき』
まど・みちお文 ましま せつこ 絵
こぐま社



生後4か月ごろになると、赤ちゃんもきちっと絵本に焦点を合わせて見ることができるようになります。

最初は、「色」がはっきりしているもの、ものがすっきりと描かれているものがおすすめです。

「色」のない絵本がだめということではありません。年齢が上がってくれば、よいお話であれば、色のない絵本でも、じっくりと楽しむことができますようになります。